

図書館のあゆみ

(1) 葛飾区立図書館のあゆみ

年	月	主な出来事
S 24	1	本区最初の図書館として、本田町 17 番地に葛飾図書館（現・立石図書館）開設。面積 90 m ² 余、約 3,000 冊の蔵書で発足。入館料大人 2 円、子ども 1 円（当時ハガキ 1 枚 2 円）
25	4	「図書館法」の制定により、入館料の徴収を廃止
26	3	第 1 回レコードコンサート開催。クラシック、ポピュラーそれぞれ解説者を付けて、土曜日の夜、閉館後に開催
28	4	団体貸出業務開始。各分野の図書を詰め合わせた 10 冊を 1 パックとし、50 冊まで 1 か月貸出
30	7	隣接の旧本田職業安定所の建物を改築して現在地（立石一丁目 9 番 1 号）に移転
35	4	夜間開館（午後 6 時まで）開始。貸出冊数は 1 人 2 冊まで、貸出期間は 10 日間
39	4	平日の開館時間を午後 8 時までに延長
42	4	・ 20 日/旧新宿支所跡（新宿三丁目 7 番 1 号）に「葛飾区教育センター」を開設。センター内に教育研究所などと併設で、葛飾区立葛飾図書館開館 ・ 貸出方式にブラウン方式を採用（以後は全館この方式） ・ 旧葛飾図書館は「葛飾区立立石図書館」に改称
	5	葛飾図書館内に郷土資料室を開設
	9	・ 団体貸出業務を立石図書館から葛飾図書館へ移管（5 人以上を 1 団体とし、1 口 10 冊、5 口まで 1 か月間貸出） ・ 読書週間中に、葛飾図書館で初めて講演会及び映画会を開催（他館は昭和 54 年度から）
43	5	レコードの購入開始。16 ミリフィルム、映写機の貸出開始。葛飾図書館で土曜レコードコンサート開始
	9	「葛飾図書館報」創刊
44	6	団体貸出用配本車配備。「電話一本で本の出前」のキャッチフレーズにより貸出サービスを広域化。午前中受けたリストに基づき午後配本
	8	電子コピーによる複写サービス開始
	9	読書週間行事として郷土史講座開催。以後、毎年 2 日間にわたり開催
45	5	・ 入館票を廃止し、入館札（プラスチック製）により閲覧室は座席指定制に変更 ・ 葛飾図書館でクラシック、ポピュラー各解説者付きのレコードコンサートを開始
46	4	図書の予約制度を導入
	7	葛飾図書館で児童向けに図書館 PR のためのキャラバンを実施
	11	立石図書館、改築のため休館
47	7	・ 視覚障害者のための点字図書の収集、貸出開始。1 人 5 冊まで、貸出期間は 1 か月間 ・ 夏休み期間中、葛飾図書館でレコードの館外貸出開始
	8	「葛飾図書館報」を、第 8 号から「花しょうぶ」に名称変更

年	月	主な出来事
S 48	4	貸出冊数を2冊から3冊（児童室は4冊）に、貸出期間は14日間
	5	1日/立石図書館改築工事竣工、業務再開。規模は旧図書館の4倍以上
49	6	団体貸出の電話受付を廃止し、来館選定方式に変更
51	8	葛飾図書館で高校生以上を対象にレコードの貸出開始。1回2枚、貸出期間は7日間
52	6	1日/お花茶屋図書館開館（お花茶屋二丁目1番15号）。障害者用設備設置
	10	1日/都営住宅1階に上小松図書館開館（東新小岩三丁目12番1号）
54	4	葛飾図書館でレコードの貸出を中学生以上に変更
55	2	「葛飾区基本計画」策定。この計画により図書館建設及び蔵書目標の骨子が確定
	—	立石図書館で学級招待を初めて実施（実施月は不明）
56	7	立石図書館にレコード、カセットテープの館内利用コーナー及び参考図書コーナーを設置
	10	1日/都営住宅1・2階に亀有図書館開館（亀有一丁目17番5号）
57	4	葛飾図書館でカセットテープの貸出開始。貸出数1回2本、貸出期間は7日間
	6	1日/水元保健相談所と併設して水元図書館開館（水元一丁目7番3号）
58	5	一般室図書の貸出冊数を児童室と同様の4冊に変更。貸出期間は14日間
	9	・葛飾図書館で視覚障害者にカセットテープの貸出開始 ・連絡車による宅配。電話での申込受付を開始
59	12	葛飾区教育センターの改修工事開始
	—	水元図書館で園招待を初めて実施（実施月は不明）
60	11	葛飾図書館、改修工事完了。障害者用設備（対面朗読室、録音室等）設置。区内全域をカバーする図書館のセンターとして始動
	12	区立図書館の事務改善及び機械化検討委員会発足
61	4	視覚障害者への対面朗読サービス開始
	10	区立図書館の電算化に向けて、システム構築部会発足
62	4	・一般事務の事務事業の改善、充実を目的として、一般室事務研究会を発足 ・児童事務の事務事業の改善、充実を目的として、児童室事務研究会を発足
	6	・25日/鎌倉図書館開館（鎌倉二丁目4番5号）。区立図書館で初めてCDを購入 ・25日/葛飾・立石・鎌倉3館によるオンラインサービス開始。23区初の利用者用端末を設置 ・図書の貸出冊数を6冊までに変更。貸出期間は従来どおり14日間
63	6	・1日/お花茶屋・上小松・亀有・水元4館の電算化により、葛飾区立図書館7館全館オンラインサービス開始 ・16日/葛飾図書館に「葛飾コーナー」を設置
	7	小学生の図書館利用を促進するため、夏休み向けパンフレット、推薦図書リスト「むぎわらぼうし」の配布を開始

年	月	主な出来事
H元	1	・ 区立図書館全館で、CD、カセットテープ及びレコードのコンピュータによる貸出に向けて準備を開始 ・ 新聞の区内図書館関連記事の切抜きを開始 ・ 区立図書館のPR活動の促進を目的とする広報委員会を発足 ・ 資料収集について検討する資料委員会を発足 ・ 電算システムの改善、開発に向けて電算委員会を発足
	7	1日/区立図書館全7館の平日の児童室を、午後1時開室から一般室と同じ午前9時開室に変更
	8	4日/水元図書館で、小学生の「一日図書館員」を実施
	11	・ 1日/区立図書館全館で、CD、カセットテープ及びレコードのコンピュータによる館外貸出を開始。貸出点数はCD、カセットテープ合わせて1人2点まで、レコードは制限なし。貸出期間は、図書と同じく14日間 ・ 1日/葛飾図書館のCD、カセットテープ及びレコードの貸出カウンターを2階の一般図書カウンターに移し統合。これに伴い、貸出時間を「午後5時まで」から「午後8時まで」に延長
2	1	区立図書館全7館に特設コーナーを設置。テーマは葛飾「地方出版物」、立石「戦争と平和」、お花茶屋「実年」、上小松「外国語」、亀有「環境問題」、水元「ヤングレファレンス」、鎌倉「消費者」
	4	・ 図書・雑誌の貸出冊数の制限を撤廃。CDとカセットテープの貸出も4点までに拡大 ・ 障害者に対する区立図書館のサービスを検討する、障害者サービス委員会発足
	7	1日/CD、カセットテープの予約サービスを開始。受付は、自館所蔵分のみ
	10	区立図書館全7館において、蔵書の分担収集を開始
	11	1日/登録申込みの際に必要な生年月日を生年のみに変更
3	1	5日/CD、カセットテープを他の図書館から取り寄せるサービスを開始。これにより、全館の資料が予約受付の対象になると同時に、任意の館への返却も可能となるよう変更
	3	「郷土と天文の博物館」の開設に伴い、葛飾図書館内に設置されていた郷土資料室を廃止（郷土資料室所蔵資料は、同博物館に移管）
	6	CD-ROM版の収集を開始 (注) CD-ROM版 大家壮一文庫目録その他の目録、辞典、地図帳等のCD-ROM版のこと。
	7	ビデオソフト及びレーザーディスクの収集を開始
	11	音訳ボランティア中級講座を開催
4	1	葛飾図書館2階の郷土資料室跡を改修し、生活、学習、スポーツ、レクリエーション等、区民に役立つ各種の情報資料（主として図書・雑誌）を集めた情報コーナーを設置

年	月	主な出来事
(4)	12	・区立図書館電算システムを新規機種へ移行（第1回バージョンアップ、同時に女性センター図書資料室とのオンラインを開設し、資料の相互貸借を開始） ・タッチパネル方式の利用者開放端末「はてなくん」を設置
H 5	3	葛飾図書館の児童室前庭を緑陰閲覧室として整備し、利用者へ開放
	7	図書収集方針策定委員会を発足
	8	小学生の「一日図書館員」を全館で実施
6	11	・葛飾図書館（教育センターホール）で「図書のリサイクル市」を試行 ・地域館で視覚障害者に対する宅配サービスを試行実施
7	1	・葛飾図書館で、ビデオテープの貸出開始。新規購入 200 巻を加え、928 巻を備える。貸出巻数は1人1巻、貸出期間は7日間 ・朗読ボランティア初級養成講座を開催
	5	図書館システムのバージョンアップに向けて電算委員会発足
8	5	朗読ボランティア中級養成講座（全10回）を開催
	12	7日/四つ木地区図書館開館（四つ木四丁目8番1号よつぎ小学校内）。葛飾図書館の分館として位置づけ
9	11	「本のリサイクル市」を亀有図書館で開催
10	4	・地区館を除き第3日曜日を開館日に変更 ・館内整理日を第4木曜日に変更 ・対面朗読と肢体不自由者への宅配を開始 ・視覚障害者・音訳ボランティア・点訳ボランティア・図書館職員による四者懇談会を開催
11	1	・電算システム新機種へ移行（第2回バージョンアップ） ・AV MARC（AV-NOCS）の導入及び図書MARC（日販マーク）のバージョンアップ ・ISBN総合目録に加わり、相互協力を強化。各館にパーソナルコンピュータを設置し、都立図書館蔵書目録（METLICS）の検索が実現 （注1）MARC Machine-Readable Cataloging （注2）AV MARC 図書館の視聴覚資料のコンピュータ用目録データ （注3）図書MARC コンピュータで取れるデータ形式となった書誌のデータベース
	6	1日/西水元地区図書館開館（西水元二丁目2番8号西水元あやめ園内）。葛飾図書館の分館として位置づけ
12	4	・四つ木・西水元地区図書館の第3日曜日を開館し、土曜・日曜の開館時間を午前10時～午後5時に変更 ・返却期限の過ぎている資料がある場合は、新たな資料の貸出は不可に変更 ・ビデオソフトの貸出期間を14日間に変更 ・葛飾図書館において、国会図書館・都立図書館等の蔵書のインターネットでの検索が実現

年	月	主な出来事
(12)	(4)	・組織改正に伴い、各図書館で行っていた資料の選定を、葛飾図書館における集中選定に変更 ・資料の装備を委託から直営に切替え ・一般公募による非常勤職員を初めて採用（24人）
	9	・利用案内の英語版を改定。中国語版・ひらがな版を新たに作成 ・20日/お花茶屋図書館が、耐震及び空調設備改修工事のため休館（9月20日～11月24日）
	11	・子ども読書年企画事業として、連続講演会を開催 ・子ども読書年記念リーフレット「いっぽ いっぽ」を作成
H13	3	・教育研究所が、旧明石小学校へ移転 ・かつしかFMで、月2回（第2・第4水曜日）図書館の放送時間を新設
	4	・教育研究所移転により図書館単独施設となり、教育センターを葛飾図書館に名称変更 ・地域館・地区館において、葛飾図書館所蔵のビデオテープの予約による貸出開始 ・地域館・地区館において、国会図書館・都立図書館等の蔵書のインターネットでの検索が実現 ・葛飾区音訳ボランティア作成・校正済の録音テープを初めて都立図書館に登録
	6	・5日/亀有図書館が、冷暖房設備改修工事のため休館（6月5日～7月9日） ・障害者サービスの利用案内（墨字版）を作成
	7	・1日/葛飾図書館1階エントランスにおいて、検定前の小・中学校教科書の展示会を開催 ・19日/葛飾ゆかりの作家、中島梓氏の御母堂がその著作を寄贈
	9	録音図書全国総合目録へ参加し、5作品を登録
	10	・庁内レファレンスサービス事業を開始 ・葛飾ケーブルテレビで、新刊本の紹介開始
	12	障害者サービスの利用案内（点字版）を作成
	14	・葛飾図書館3階の行政資料室を旧教育研究所資料室に移設し、行政資料・郷土史料の収集を強化・充実 ・利用案内のハングル版を作成
14	3	総合的な学習や調べ学習を支援するため、「図書館利用案内小・中学校版」を作成
	4	「子どもの読書活動の推進に関する法律」（平成13年12月施行）に定められた「子ども読書の日」（4月23日）にあわせ、絵本やおすすめ本の展示会などを各館で開催
	6	「第1期 読み聞かせボランティア講座（初級）」を開催

年	月	主な出来事
(14)	7	中学生、高校生向けの図書リスト「Dog ears (ドッグ イアーズ)」を作成し、区立中学校全生徒に配付
	9	・2日/葛飾図書館耐震及びエレベータ設置工事实施（9月2日～11月30日休館）。あわせて、葛飾図書館の2階にレファレンスカウンター、1階に総合カウンターを設置 ・葛飾図書館にBDS(ブック・ディテクション・システム、葛飾図書館資料無断持ち出し検知システム)を設置
	10	区制施行70周年記念行事の一つとして「シルバー図書館員」を実施
H15	2	・「第2期 読み聞かせボランティア講座（初級）」を開催 ・「葛飾区立図書館基本計画」を策定。計画期間を10年間とし、図書館サービスを計画的に充実
	4	・地区館を除き開館日及び開館時間を拡大。1月1日を除き祝日も開館し、月曜日が祝日に当たる場合は、月曜日を開館し、翌火曜日を休館。祝日の開館時間は、午前9時～午後5時。また、土曜日の開館時間を「午後5時まで」から「午後8時まで」に延長 ・視聴覚資料の利用状況を見直し、レコードの収集、貸出等を休止 ・地域館に専用レファレンスカウンターを設置（葛飾図書館は平成14年12月に設置） ・平成16年開館予定の青戸地区図書館の資料の収集を開始
	6	水元図書館で初めて公共図書館・学校図書館連絡会を開催
	9	・5日/葛飾区基本計画に位置づけられた新中央図書館整備に向け、第1回葛飾区中央図書館建設検討委員会（庁内検討組織）を開催 ・27日/前年の初級読み聞かせボランティア講座に続き、「第1期中級読み聞かせボランティア講座」を開催（9月27日～11月7日） ・葛飾図書館にパソコン利用者のためのパソコンルームを設置（8席）
16	1	・10日/新システムによる業務開始 ・10日/葛飾区立図書館ホームページを開設 ・10日/インターネットによる図書館資料の検索サービス開始 ・17日/館内利用者開放端末からの予約受付開始 ・28日/インターネットによる予約受付開始 ・新システムによる業務開始に伴い、これまで無制限だった貸出冊数及び予約冊数を変更（図書・雑誌の貸出冊数は合計30冊まで、予約冊数は合計20冊まで）。視聴覚資料については変更なし。 ・リクエストの受付は、区内在住、在勤、在学及び近隣区に在住の利用者に限定 ・葛飾図書館に持込みパソコン室を設置し、館内でのパソコンの使用を実現

年	月	主な出来事
(16)	4	・ 1 日/葛飾図書館の一部組織改正を行い、新中央図書館の計画を担当する整備担当係を新設 ・ 文部科学省が今までの児童サービスの功績に対し葛飾図書館を表彰
	5	・ 12 日/青戸地区図書館開館（青戸五丁目 20 番 6 号青戸地区センター内）。葛飾図書館の分館として位置づけ ・ 学校図書館支援指導員の導入に伴う研修を図書館で実施 ・ 新中央図書館整備に当たり、区民が参加する「中央図書館開設懇談会」を設置
	8	居場所作りの一環として、会議室の利用がない時に上小松図書館の会議室を中学生のグループ学習に開放
	10	お花茶屋図書館にビジネス支援コーナー（別置記号W）を設置
	11	・ 新中央図書館整備に向けて、「中央図書館開設にあたっての基本的な考え方」を策定 ・ 葛飾図書館においてDVDの貸出開始 ・ 葛飾図書館にビジネス支援コーナー（別置記号W）を設置
	12	1 日/千葉商科大学との連携事業開始。図書館が発行した紹介状を持参した区民に対する千葉商科大学附属図書館での利用カード発行が実現
H17	2	葛飾図書館で金町保健センター管内子育て支援機関による「子育てらんらんフェスティバル」を開催
	3	利用者の登録更新期間を 3 年から 5 年に延長
	4	・ 非常勤図書館専門員を導入（葛飾区立図書館での経験 5 年の者は非常勤図書館専門員として最大 3 年間まで雇用継続） ・ ヤングアダルト向け図書館利用案内「ようこそ葛飾区の図書館へ」を作成 ・ 区内小・中学校への図書配送サービスを開始 ・ 図書館への来館が困難な高齢者への宅配サービスを開始
	5	・ 区内中学校の生徒に利用カードを配付 ・ 葛飾区子ども読書活動推進計画を策定 ・ ブックスタートボランティア講習会を開催 ・ パソコンを使った手づくり絵本教室開催 ・ 「中央図書館開設懇談会」の公募委員を募集（18 人応募のうち 7 人選定）
	6	・ 葛飾図書館において利用者パソコンを 2 台設置し、インターネット・有料データベースの利用を提供 ・ 庁内向けに業務用新着図書リストを作成。グループウェアに掲示を開始
	8	ブックスタート事業の開始（図書館でのブックスタートパックの配布と絵本読み）
	12	12 月 28 日と 1 月 4 日を開館日に変更
18	1	「葛飾区関連新聞記事検索システム」の公開を開始（インターネットでも公開）
	3	新中央図書館実施設計完成

年	月	主な出来事
(18)	4	・葛飾図書館でカウンター業務の一部委託を開始 ・葛飾図書館のみ月曜日を開館 ・メールレファレンス受付をホームページ上で開始 ・メール督促を開始 ・ブックスタート事業の開催場所を各図書館から各保健所、保健センターへ変更。保健所、保健センターで実施される3・4か月健診時に実施
	5	・お花茶屋・上小松・鎌倉図書館に利用者インターネットパソコン各2台を設置し、インターネット・有料データベースの利用を提供 ・施設入所者等への宅配サービス開始 ・葛飾図書館に点字プリンターを設置
	6	亀有図書館にビジネス支援コーナー（別置記号W）を設置
	8	ホームページデザインをリニューアル
	9	葛飾図書館のビジネス関連コーナーを拡充
	11	障害者サービスボランティア入門講座実施
H19	3	中央図書館開設懇談会を終了し、（仮称）図書館友の会準備会へ移行
	5	（仮称）図書館友の会準備会発足
	6	立石・亀有・水元図書館に利用者インターネットパソコン各2台を設置し、インターネット・有料データベースの利用を提供
	8	ホームページにヤングアダルトコーナー開設
20	6	・次期システムのプロポーザルを実施し、委託事業者を決定 ・葛飾図書館友の会設立
	11	葛飾・立石図書館を除く全館の全資料にICタグを貼付開始
21	3	・22日/立石図書館が、建替え工事のため休館 ・24日/立石サービスコーナー開設（平成21年3月24日～平成23年6月26日） ・中央図書館において、座席管理システム導入のプロポーザルを実施し、委託事業者を決定
	4	図書MARCを日販MARC（NS）からTRC MARC（TRC）に移行
	6	・21日/「葛飾図書館さよならサイクル市」開催 ・葛飾図書館は縮小運営。一階部分で図書館サービスを継続
	7	・再開発ビル中央図書館部分引き渡し ・中央図書館窓口業務委託事業者をプロポーザル方式により決定（委託期間：平成21年9月～平成24年8月）
	9	・葛飾区立図書館メールマガジン登録開始 ・中央図書館を除く全ての館で新システム稼働、ICタグを使用した貸出、返却サービスを開始。地域館において自動貸出機各1台が稼働 ・図書館ホームページデザインのリニューアル

年	月	主な出来事
(21)	(9)	・Webからの未所蔵資料の予約、登録、メールマガジンを含むメールサービスを開始
	10	・17日/葛飾区立中央図書館開館。23区内でワンフロアとしては最大の図書館として開設。自動貸出機、自動返却仕分機、予約資料コーナーの稼働。ユニバーサル・デザインを採用。中央図書館座席管理システム稼働開始 ・中央図書館でビジネス支援サービスの一環として「ビジネス相談会」を開催 ・中央図書館でオリジナル図書館バッグを販売 ・葛飾図書館は新宿図書センターに名称を変更。区内図書館ストックヤードの保存庫機能と地区館としての機能を併設させるための準備を開始
	11	図書館ホームページのコンテンツ「葛飾文学散歩」が稼働
H22	2	・メールレファレンスを利用者ログイン画面からログインして確認できるように変更 ・文部科学省が立ち上げた「図書館海援隊プロジェクト（図書館による貧困・困窮者支援）」の参加を中央図書館が表明
	3	・平成22年度前期中央図書館ビジネス相談会の定期開催を決定 ・16ミリフィルム及び16ミリ映写機の貸出を終了
	4	・新宿図書センターに区内図書館のストックヤードとして保存庫を開設 ・国会図書館、各大学図書館所蔵の相互貸借資料を有料化
	8	・葛飾区ゆかりの作家、栗本薫氏のご遺族から、直筆原稿他約297点の寄贈の申入れ ・中央図書館一周年記念事業として、図書館所蔵資料の葛飾コレクション図録の作成と葛飾区ゆかりの作家の資料展を開催
	9	・27日/新宿図書センターの1階部分について、図書館機能と学校図書館支援機能を持たせるため、改修工事を実施（平成22年9月27日～平成23年1月4日） ・改修工事中は2階をサービスコーナーとして縮小開設
	10	・ヴィナシス金町（再開発ビル）一周年記念行事に参加 ・新立石図書館の特別資料を、かつしかエコライフプラザとの併設のため「環境」に設定
23	1	新宿図書センター内図書館リニューアルオープン
	2	「葛飾区子ども読書活動推進計画（第二次）～子ども読書活動を推進するための基本的な指針～」の素案を作成
	3	・11日/東日本大震災発生 ・11日/被害状況確認のため、全図書館を午後5時に閉館 ・12日/13日の開館に向け、全図書館を休館 ・12日の休館に伴い、取置期限が11日、12日までの資料の取置期限を15日まで延長

年	月	主な出来事
(23)	(3)	・ 13 日以降/全図書館で、節電協力のため閉館時間を午後 5 時に縮小して開館 ・ 13 日/全図書館で「地震」の緊急特設及び特集展示を開始 ・ 15 日/安全確保のため、各図書館の一部の行事の中止を決定 ・ 資料の取置期限を、15 日から 16 日に延長 ・ 15 日/全図書館の開館時間を当面の間午後 5 時までに短縮する縮小開館を決定 ・ 縮小開館に伴い、取置期限が 3 月 11 日～17 日の資料の取置期限を 18 日まで延長 ・ 23 日/震災の影響で葛飾区内に避難されている方の利用登録及び貸出を開始 ・ 25 日/水元学び交流館に避難されている方へ、団体貸出を開始 ・ 25 日/水元学び交流館において、読み聞かせを実施 ・ 30 日/水元学び交流館への団体貸出を実施
	4	・ 2 日/奥戸地区図書館開館（奥戸三丁目 5 番 1 号南奥戸小学校内）。中央図書館の分館として位置づけ ・ 12 日～30 日/館内を消灯し、カウンター業務を一部縮小して夜間開館 ・ 縮小夜間開館中のサービス：予約で取り置いている資料の貸出、受取館の変更、貸出中資料の延長、再貸出、資料の予約、資料の返却、新規の利用登録、住所・電話等の変更登録 ・ 中央・立石図書館の夜間開館時間：午後 5 時～午後 8 時（通常：中央・立石図書館は月曜日～土曜日は午後 10 時まで、日曜日・祝日は午後 8 時まで開館） ・ 地域館の夜間開館時間：日曜日・祝日を除き、午後 5 時～午後 8 時 ・ 地区館の夜間開館時間：金曜日のみ、午後 5 時～午後 8 時
	5	・ 中央図書館で、開館時間を午後 8 時までに短縮した上で、通常のサービスを開始 ・ 6 月 30 日に開館する立石図書館も同様のサービスを実施 ・ 1 日/地域館及び地区館で通常のサービスを開始（5 月 1 日～9 月 11 日） ・ 27 日/立石サービスコーナー閉館
	6	・ 30 日/立石図書館がかつしかエコライフプラザとの複合施設として開館。中央図書館に次いで、自動貸出機、予約資料コーナーを設置。また、新たに簡易自動返却機によるシステムを開始 ・ 「葛飾区子ども読書活動推進計画（第二次）～子ども読書活動を推進するための基本的な指針～」を策定。おおむね 5 年間を計画期間とし、子どもの読書活動推進を充実・強化 ・ 図書館ホームページのコンテンツ「区民がつくる葛飾百科」が稼働
	7	地区館で行っていた学校への団体貸出用のパックを、新宿図書センターに設けた団体貸出エリアからの団体貸出・返却として一元化
	8	葛飾区関連の地域資料のデジタル化のため、システム開発準備開始
	9	・ 10 日/中央・立石図書館で、通常の開館時間でサービスを開始 ・ 新宿図書センター 3 階部分の閲覧席 80 席を開設

年	月	主な出来事
(23)	10	・新宿図書センター内に学校図書館支援コーナーを開設。小・中学校教科書を含み、主に学校図書館関係者に参考になる資料を中心に収集
	12	中央図書館において年末年始開館の試行を開始（12月31日～1月3日）
H24	3	・寄贈直筆原稿及び葛飾区関連資料のデジタル化した地域資料の納品完了 ・葛飾区立図書館利用に障害のある人へのサービス実施要綱の改正
	4	・図書館が所蔵する葛飾ゆかりの作家の自筆原稿を始めとする館内の地域資料を平成23年度にデジタル化したことを受けて、一般公開を行うためにシステム改修とデジタル地域資料の図書館ホームページコンテンツの作成に着手。この作業を目的とする図書館内検討チームを発足 ・小学校1年生を対象に「一年生事業」を開始
	5	全国視覚障害者情報総合ネットワーク「サピエ」に加入
	7	中央図書館窓口業務委託事業者をプロポーザル方式により決定（委託期間：平成24年9月～平成27年8月）
	10	・1日～19日/水元図書館が、改修工事のため業務縮小開館実施 ・業務縮小開館中は、月曜日に加え、土曜日、日曜日、祝日を休館日とし、閉館時間を午後5時に変更。また、20日～25日は特別整理期間として休館 ・「葛飾区子ども読書活動推進計画（第二次）」に基づいた多文化サービスの一環として、「いろんなことばのおはなし会」を実施
	12	中央・立石図書館で年末年始開館を開始
25	3	4月1日から「かつしかデジタルライブラリー」として公開するため、館内OPAC、図書館ホームページ及び中央図書館の専用パソコンで閲覧できるよう、図書館システムへのデジタル画像約18,000点のデータ取込みを実施
	4	1日/「かつしかデジタルライブラリー」の公開を、図書館ホームページ、館内OPAC及び中央図書館に設置したデジタルライブラリー専用パソコン4台で開始
	5	・3歳児を持つ家庭に向けてセカンドブック事業を開始 ・東京理科大学葛飾図書館と葛飾区立図書館の連携を開始。18歳以上の葛飾区民は、身分証明書と葛飾区立図書館利用カードの持参により、図書館からの紹介状なしでの東京理科大学葛飾図書館利用が実現
	10	1日/お花茶屋図書館が、照明設備取替工事のため業務を縮小し開館（平成25年10月1日～12月13日）。また、12月14日～19日は特別整理期間として休館
	11	東京聖栄大学との定例会を開始
26	2	・中央図書館において、新座席管理システムのプロポーザルを実施し、委託事業者を決定 ・中央・お花茶屋図書館において医療・健康情報講演会を初めて開催
	3	・「葛飾区立図書館の基本的な考え方【取組方針】」の素案を作成 ・「第1回 葛飾区立図書館 ビブリオバトル」を中央図書館において開催 ・立石図書館で初めて「バリアフリー映画会」を開催

年	月	主な出来事
(26)	5	・中央図書館において雑誌スポンサー制度を開始 ・青戸地区図書館開館 10 周年記念イベントを開催
	6	中央図書館で大学連携事業の一環として、初めて「東京聖栄大学の学生による食育の絵本読み聞かせ」を実施
	7	・中央図書館において、新座席管理システム稼働 ・25 日/中央図書館において、国立国会図書館「デジタル化資料送信サービス」を開始 ・中央図書館開館 5 周年。記念イベントを実施
	10	20 日/図書館のより一層の利便性の向上を図るため、新小岩駅東北広場に図書返却ポストを設置
	11	東京理科大学祭に初めて参加し、「リサイクル市」を開催
	12	・「葛飾区立図書館の基本的な考え方【取組方針】」を策定 ・中央図書館で初めて「バリアフリー映画会」を開催
H27	2	お花茶屋図書館内郷土資料室に常設展示「平櫛田中とかつしか」を設置
	4	小学校 1 年生、中学校 1 年生に向けて本を手渡す「かつしかっ子ブック事業」を開始
	6	・スマートフォン版 OPAC を開設 ・中央図書館の個人閲覧席、研究個室及びグループ研究室において、公衆無線 LAN サービスを開始
	9	中央図書館内に「いきいきシニアコーナー」を夢と誇りあるふるさと葛飾基金を利用し新設
	11	「葛飾区立図書館の基本的な考え方（取組方針）」の点字版を制作
28	3	26 日/こすげ地区図書館開館（小菅三丁目 8 番 22 号こすげ小学校敷地内）。中央図書館の分館として位置づけ
	4	登録情報の適正な管理のため、利用カードの有効期間を 5 年から 3 年に変更。また、区民サービス充実の観点から、未所蔵資料の取寄せや新刊購入リクエストは葛飾区在住・在勤・在学の方に変更
	6	・立石図書館開館 5 周年。記念イベントを実施 ・図書館への来館が困難な方に向けてボランティアによる「本の宅配サービス」を開始
	7	21 日/堀切地区センター前に図書返却ポストを設置
	10	ホームページに読書記録、お気に入り登録を機能追加。読書手帳はダウンロード可能
	12	四つ木地区図書館開館 20 周年。記念イベントを実施
29	3	・24 日/青砥駅高架下公共広場、新柴又駅前に図書返却ポストを設置 ・ブックスタート事業、セカンドブック事業、かつしかっ子ブック事業（小学 1 年生）対象のお子さんに読書手帳の配付を開始

年	月	主な出来事
(29)	6	16 日/第 11 期葛飾区社会教育委員の会議のテーマが「区民のよりどころとなる図書館を目指して」となり、第 1 回目の会議を開催
	7	・ 28 日/「ありがとう新宿図書センター休館イベント」を実施（7 月 28 日～9 月 30 日） ・ 31 日/葛飾赤十字産院の移転に伴い新宿図書センター内の学校図書館支援コーナーを終了
	9	・ 2 日/青戸地区図書館が、改修工事のため休館（9 月 2 日～10 月 22 日） ・ 26 日/新宿図書センターに併設されていた「保存庫」を移転するため、水元図書館の改修工事と縮小開館実施（9 月 26 日～10 月 22 日）
	10	・ 1 日/葛飾赤十字産院の移転建替えに伴い新宿図書センターが休館 ・ 17 日/新宿図書センター休館に伴い新宿図書サービスコーナーを設置 ・ 27 日/水元図書館通常開館、保存庫資料の貸出開始
	11	「新宿図書センターさよならリサイクル市」を開催
	12	中央図書館に寄贈された栗本薫氏の直筆原稿及びデジタル化した資料を提供協力した小学館が「栗本薫・中島梓傑作電子全集」を刊行開始
H30	1	葛飾赤十字産院内への図書館設置準備開始
	2	23 日/中央図書館の外国語資料の中に「多読コーナー」を新設
	4	・ 7 日/リリオ亀有図書サービスカウンター開設 ・ 23 日/四ツ木駅前図書返却ポスト設置
	8	中央図書館に寄贈された直筆原稿でデジタル化した資料の中から、栗本薫氏が中島梓名義で執筆した未発表の私小説「ラザロの旅」を発見
	9	4 日/鎌倉図書館が、空調設備及び照明設備改修等の工事のため休館及び縮小開館（平成 30 年 9 月 4 日～平成 31 年 3 月 22 日）
	11	6 日/上小松図書館が、照明機器の LED 化及び電気設備等の改修工事のため休館及び縮小開館（11 月 6 日～12 月 14 日）
31	1	11 日/第 11 期葛飾区社会教育委員の会議が提言「区民のよりどころになる図書館を目指して」を教育長に提出。平成 31 年 3 月 19 日から公開
	3	葛飾図書館新宿図書センター記念誌－葛飾区立図書館 70 年のあゆみ－を刊行 （注）「平成 31 年」は 4 月 30 日まで、「令和元年」は 5 月 1 日から
R 元	5	24 日/西水元地区図書館、20 周年特別イベント開催（5 月 24 日～6 月 26 日）
	6	国立国会図書館「レファレンス協同データベース」に参加
	7	第 11 期社会教育委員を基調講演の講師及びパネリスト等に迎え、「未来の図書館を考えるシンポジウム」を開催
	10	・ 12 日/台風 19 号の影響により、全館午前休館 ・ 中央図書館 10 周年記念イベントを実施
	11	11 日/お花茶屋図書館が、空調設備改修工事のため休館（11 月 11 日～12 月 23 日）

年	月	主な出来事
R 2	3	・新型コロナウイルス感染症のため、縮小開館を実施（閉館時間は変更なし）。サービス内容は、予約した資料の受け取り、資料の返却のみ可能とし、館内立ち入りは禁止。また、イベントについても中止 ・加太こうじ氏のご遺族が「紙芝居原画」や「直筆原稿」等の資料を寄贈
	4	・7日/新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、政府が緊急事態宣言を発出したことを受け、葛飾区立図書館全館を休館。緊急事態宣言の期間は5月25日までだったが、図書館はシステムリプレイス実施のため、5月31日まで休館 ・図書館に来られない方へのサービスとして、インターネット上で本に触れることができるサイトのリンクを集め、ホームページで公開
	5	20日/葛飾区立図書館全館でシステムリプレイスを実施（20日～31日）
	6	・1日/新型コロナウイルス感染症の感染対策を講じながら通常開館 ・中央図書館において、図書の郵送サービス（有料）を開始
	7	・感染症の感染対策を講じながらイベントを再開。接触を伴うイベントの多くは中止 ・葛飾昔ばなし研究会が制作した「葛飾昔ばなし紙芝居」の読み聞かせ動画を区公式 YouTube チャンネルにおいて配信
	8	・31日/亀有図書館が、空調設備工事等のため休館（令和2年8月31日～令和3年1月14日） ・中学生から18歳までの方を対象に中央図書館の会議室を開放。会議室のある他の図書館においても、一部利用者に対して会議室を開放
	10	ビジネスセミナー「よくわかる あなたの商売を守る特許・商標の活用法」の動画を区公式 YouTube チャンネルにおいて配信
3	1	8日/新型コロナウイルス感染症の感染再拡大に伴い、政府が緊急事態宣言を発出。これを受け、中央・立石図書館を最長午後8時まで、リリオ亀有図書サービスカウンターを午後7時までの開館に変更
	3	22日/緊急事態宣言が解除。引き続き外出自粛要請が発令されたため、中央・立石図書館は、最長午後9時までの開館に変更
	4	・1日/にいじゅく地区図書館施設借上げ開始 ・ティーンズ向け本の紹介動画「ワン★ブック」を区公式 YouTube チャンネルにおいて配信 ・1日/地区館が祝日も開館日に変更 ・12日/まん延防止等重点措置が適用されたため、中央・立石図書館は、最長午後8時までの開館に変更 ・25日/緊急事態宣言が再発出されたため、中央・立石図書館は、最長午後8時までの開館を継続
	5	オンラインによるビジネスセミナーを実施（16日、29日、6月26日午前・午後）

年	月	主な出来事
(3)	6	2 日/にいじゅく地区図書館開館（東京かつしか赤十字母子医療センター内）。中央図書館の分館として位置づけ。自動貸出機、簡易自動返却機、公衆無線 LAN（Wi-Fi）、タブレットを設置
	7	1 日/地域館において公衆無線 LAN（Wi-Fi）サービスの提供を開始
	8	23 日/「東京共同電子申請・届出サービス」を使用した新規登録（葛飾区立図書館オンライン利用登録）を開始。新規登録者に対し、「東京共同電子申請・届出サービス」で利用者 ID 及びパスワードを配付するとともに、希望者には利用カードを郵送（郵送料区負担）
	9	・ 1 日/地区館において公衆無線 LAN（Wi-Fi）サービスの提供を開始 ・ 1 日/葛飾区立図書館電子書籍サービスを開始。区内在住・在勤・在学の方が対象。貸出、予約点数は 2 点まで。貸出期間は 14 日間（貸出期間が過ぎると自動的に資料は返却）。電子書籍の利用には、葛飾区立図書館の利用登録（利用カードの ID 及びパスワード）が必要 ・ 3 日/中学 1 年生に電子書籍閲覧用の ID・パスワードの配付を開始
	10	・ 1 日/緊急事態宣言期間の延長が終了し、リバウンド防止期間が設けられたことに合わせて、中央・立石図書館は、最長午後 9 時までの開館に変更 ・ 25 日/リバウンド防止期間が終了し、基本的対策徹底期間が設けられたことに合わせて、中央・立石図書館について通常の開館時間に変更
	11	3 日/電子雑誌閲覧サービス実証実験参加（令和 3 年 11 月 3 日～令和 4 年 1 月 31 日）
R 4	3	南葛 SC（葛飾区社会人サッカークラブチーム）とのコラボ事業を開催。サッカー選手によるおはなし会や特別展示を実施
	4	・ 1 日/電子雑誌閲覧サービス（TRC-DL マガジン）を開始。区内在住・在勤・在学の方が対象。電子雑誌の利用には、葛飾区立図書館利用登録（利用カードの ID 及びパスワード）が必要 ・ 1 日/図書館ホームページに多言語自由翻訳ツールを導入
	6	水元図書館開館 40 周年。記念イベントを実施
	9	子ども司書認定事業を中央図書館及び地域館で開始。3 月末までの半年間の講座を経て子ども司書として認定
5	3	子ども司書として 49 人の児童を認定。認定された児童は、子ども司書クラブとして中央図書館及び地域館で活動
	7	1 日/かつしかゆかりの作家である加太こうじ氏の紙芝居・自筆原稿・図画等の資料をデジタル化し、363 件分の画像データ、書誌データを作成
	10	1 日/新小岩図書サービスカウンター開設。セルフ予約棚・ゲート・自動貸出機を設置
	11	27 日/西水元地区図書館 LED 化工事を実施（27 日～29 日）

年	月	主な出来事
R 6	3	平成 26 年に策定した「葛飾区立図書館の基本的な考え方【取組方針】」に、東京都の「第四次東京都子供読書活動推進計画」を踏まえた内容を加えるとともに、新たに、図書館が抱える課題の解決に向けた今後の区立図書館サービスの方向性を明確にした「葛飾区立図書館の基本的な考え方【取組方針】」を改定

備考 「年」の欄中「S」は昭和、「H」は平成、「R」は令和を示すものとする。

(2) 葛飾区立図書館 システムのあゆみ

年	月	主な出来事
S 60	12	区立図書館の事務改善及び機械化検討委員会発足
61	10	区立図書館の電算化に向けて、システム構築部会発足
62	6	・葛飾・立石・鎌倉 3 館によるオンラインサービス開始。23 区初の利用者用端末を設置 ・利用者用端末は、タッチ式キーボードで、かなとローマ字のオーバーレイを切り替えて使用する方式
63	6	1 日/お花茶屋・上小松・亀有・水元 4 館の電算化により、葛飾区立図書館 7 館全館オンラインサービス開始
H 元	4	電算システムの改善、開発に向けて電算委員会を発足
2	11	1 日/登録申込みの際に必要な生年月日を生年のみに変更
4	12	・区立図書館電算システムを新規機種へ移行（第 1 回バージョンアップ、同時に女性センター図書資料室とのオンラインを開設し、資料の相互貸借を実施） ・タッチパネル方式の利用者開放端末「はてなくん」を設置 ・新システムでは利用者開放端末が業務系と切り離されたため業務系への負担が減少
7	5	図書館システムのバージョンアップに向けて電算委員会発足（現状の問題点を集約し、各メーカー及び自治体を視察）
11	1	・電算システム新機種へ移行（第 2 回バージョンアップ） ・ソフトは 2000 年対応を含めて部分開発で対応 ・AV MARC（AV-NOCS）の導入及び図書 MARC（日販マーク）のバージョンアップ ・ISBN 総合目録に加わり、相互協力を強化。各館にパーソナルコンピュータを設置し、都立図書館蔵書目録（METLICS）の検索が実現 ・館指定予約リストの出力を開始 （注 1）MARC Machine-Readable Cataloging （注 2）AV MARC 図書館の視聴覚資料のコンピュータ用目録データ （注 3）図書 MARC コンピュータで取れるデータ形式となった書誌のデータベース
12	4	葛飾図書館において、事務用インターネットパソコン設置。ISDN 回線使用。国会・都立図書館等の蔵書のインターネットでの検索が実現
13	4	地域館・地区館において、事務用インターネットパソコン設置。ISDN 回線使用。国会・都立図書館等の蔵書のインターネットでの検索が実現
14	5	・図書館システムのリース満了（平成 15 年 12 月）による、新システム導入の委託事業者の選定について、プロポーザル方式により、事業者からの技術提案を募集（7 月に図書館オンラインシステム開発委託業者選定委員会において、推薦事業者を決定） ・汎用機からクライアントサーバーへ移行 ・Web OPAC 公開、メール送信機能

年	月	主な出来事
(14)	(5)	(注) Web OPAC インターネットを利用して蔵書を検索できるシステム
	9	葛飾図書館にBDS(ブック・ディレクション・システム、葛飾図書館資料無断持ち出し検知システム)を設置
H15	9	葛飾図書館にパソコン利用者のためのパソコンルームを設置(8席)
	12	・図書館システムの入替え工事開始 ・全館のインターネットパソコンの回線をADSLに変更
16	1	・10日/新システムによる業務開始 ・10日/葛飾区立図書館ホームページを開設 ・10日/インターネットによる図書館資料の検索サービス開始 ・17日/館内利用者開放端末からの予約受付開始 ・28日/インターネットによる予約受付開始 ・新システムによる業務開始に伴い、これまで無制限だった貸出冊数及び予約冊数を変更(図書・雑誌の貸出冊数は合計30冊まで、予約冊数は合計20冊まで)。視聴覚資料については変更なし。 ・リクエストの受付は、区内在住、在勤、在学及び近隣区に在住の利用者に限定 ・葛飾図書館に持込みパソコン室を設置し、館内でのパソコンの使用を実現
	10	ホームページアクセス数が30万件を突破
17	3	・利用者の登録更新期間を3年から5年に延長 ・ホームページアクセス数が50万件を突破
	6	葛飾図書館において利用者パソコンを2台設置し、インターネット・有料データベースの利用を提供
18	1	・「葛飾区関連新聞記事検索システム」の公開を開始(インターネットでも公開) ・ホームページアクセス数が100万件を突破
	4	・メールレファレンス受付をホームページ上で開始 ・メール督促を開始
	5	・お花茶屋・上小松・鎌倉図書館に利用者インターネットパソコン各2台を設置し、インターネット・有料データベースの利用を提供 ・葛飾図書館に点字プリンターを設置
	8	ホームページデザインをリニューアル
19	6	立石・亀有・水元図書館に利用者インターネットパソコン各2台を設置し、インターネット・有料データベースの利用を提供
	8	ホームページにヤングアダルトコーナー開設
	10	ICタグシステムの導入決定
20	2	平成21年秋に稼動予定の新システムプロポーザルの公募開始
	3	ホームページアクセス数が300万件を突破
	6	次期システムのプロポーザルを実施し、委託事業者を決定。ICタグ、自動返却仕分機、セルフ予約棚、自動貸出機の導入を検討

年	月	主な出来事
(20)	11	I C タグを全館・全資料に貼付開始（葛飾図書館及び立石図書館を除く。）
H21	3	中央図書館で座席管理システム導入のプロポーザルを実施し、委託事業者を決定
	4	図書MARCを日販MARC（NS）からTRC MARC（TRC）に移行
	9	・葛飾区立図書館メールマガジン登録開始 ・中央図書館を除くすべての館で新システム稼働、I C タグを使用した貸出、返却サービスを開始。地域館において自動貸出機各1台が稼働 ・図書館メールアドレスの変更 ・図書館ホームページデザインをリニューアル ・Webからの未所蔵資料の予約、登録、メールマガジンを含むメールサービスを開始
	10	17日/葛飾区立中央図書館開館。23区内でワンフロアとしては最大の図書館として開設。自動貸出機、自動返却仕分機、予約資料コーナーの稼働。ユニバーサル・デザインを採用。中央図書館座席管理システム稼働開始
	11	図書館ホームページのコンテンツ「葛飾文学散歩」が稼働
22	2	メールレファレンスを利用者ログイン画面からログインして確認できるように変更
23	1	新宿図書センター内図書館リニューアルオープン
	3	11日/東日本大震災発生。システムは通常どおり稼働
	6	・30日/立石図書館がかつしかエコライフプラザとの複合施設として開館。中央図書館に次いで、自動貸出機、予約資料コーナーを設置。また、新たに簡易返却機によるシステムを開始 ・図書館ホームページのコンテンツ「区民がつくる葛飾百科」が稼働
	8	葛飾区関連の地域資料のデジタル化のため、システム開発準備開始
24	2	ホームページアクセス数が1,000万件を突破
	8	男女平等推進センターの全資料にI C タグを貼付
25	4	・AV MARCを、「日図協MARC（ライト版）」から「LCS CD-MARC」に移行 ・1日/「かつしかデジタルライブラリー」の公開を、図書館ホームページ、館内OPAC及び中央図書館に設置したデジタルライブラリー専用パソコン4台で開始
	12	中央図書館において、平成26年夏に稼働予定の新座席管理システムに関するプロポーザルの公募開始
26	2	中央図書館において、で新座席管理システムのプロポーザルを実施し、委託事業者を決定
	7	・中央図書館において、新座席管理システム稼働 ・25日/中央図書館で国立国会図書館「デジタル化資料送信サービス」を開始
	10	図書館システムのリース満了（平成27年4月）による、図書館システム機器入替の作業開始

年	月	主な出来事
H27	5	葛飾区立図書館全館で図書館システム機器入替を実施
	6	・スマートフォン版 OPAC を開設 ・中央図書館の個人閲覧席、研究個室及びグループ研究室に公衆無線 LAN サービスの提供を開始
28	4	登録情報の適正な管理のため、利用カードの有効期間を 5 年から 3 年に変更
	10	「読書記録」「お気に入り登録」機能を追加
30	3	Web OPAC に、言語での検索機能を追加
	4	7 日/リリオ亀有図書サービスカウンター開設
31	1	令和 2 年 6 月に稼働予定の新図書館業務システムに関するプロポーザルの公募を開始
	3	新図書館業務システム導入のためプロポーザルを実施し、構築委託事業者を決定 (注) 「平成 31 年」は 4 月 30 日まで、「令和元年」は 5 月 1 日から
R 元	6	中央図書館において、座席管理システム機器入替を実施
2	5	・20 日/葛飾区立図書館全館で図書館システムリプレイスを実施 ・Felica による利用者認証を開始 ・ホームページのデザインをリニューアル ・鎌倉図書館において、簡易返却機を設置 ・中央図書館の公衆無線 LAN (Wi-Fi) サービスを葛飾区公衆無線 LAN に変更 (「Katsushika_Free_Wi-Fi」)
3	1	亀有図書館に自動貸出機、セルフ予約棚及び簡易返却機を設置
	6	2 日/にいじゅく地区図書館開館 (東京かつしか赤十字母子医療センター内)。自動貸出機、簡易返却機、公衆無線 LAN (Wi-Fi)、タブレットを設置
	7	1 日/地域館において公衆無線 LAN (Wi-Fi) サービスの提供開始
	8	葛飾区立図書館オンライン利用登録サービスを開始
	9	・1 日/葛飾区立図書館電子書籍サービスを開始 ・1 日/地区館において公衆無線 LAN (Wi-Fi) サービスの提供開始 ・3 日/中学 1 年生に電子書籍閲覧用の ID・パスワードの配付を開始
	10	・図書館ホームページに混雑レベル別の在館者数表示機能を追加 ・図書館ホームページの利用者メニューに、利用カードと同様のバーコードを表示する機能を追加
4	4	・図書館ホームページに多言語自動翻訳ツールを導入 ・葛飾区立図書館電子雑誌サービスを開始
	9	地域館及び地区館で公衆無線 LAN (Wi-Fi) サービスの回線入替を実施
5	10	1 日/新小岩図書サービスカウンター開設。セルフ予約棚・ゲート・自動貸出機を設置

備考 「年」の欄中「S」は昭和、「H」は平成、「R」は令和を示すものとする。